

令和2年度 第43回 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県 予選会 要項 (個人の部)

朱書き = 変更事項

1. 主催：神奈川県柔道連盟・神奈川県高等学校体育連盟

2. 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

3. 日時・場所

(1) 個人の部 ※団体の部は中止

①令和3年3月6日(土) 神奈川県立武道館(横浜市港北区岸根町725 TEL045-491-4321)

ア. 男子・女子 全階級・・・受付・計量 9時から 試合開始10時から

※受付・計量は開始から45分間とする。

4. 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。

(3) 令和2年度(財)全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。

(4) 平成14年4月2日以降に生まれた者とする。(令和2年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍)ただし、同一学年の出場は1回限りとする。

(5) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。

(6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

(7) 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。

(8) 参加資格の特例

①上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技実施(大会)要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

②上記(4)のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。

(9) 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること。(短期留学は認めない)

(10) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。

(11) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医(脳神経外科)の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(12) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

5. 競技種目

(1) 男子個人の部

①下記の体重区分による。各階級への参加人数は、すでにエントリーされた選手の中から各学校決めた1名のみ出場とする。ただし、常任委員会で定められたシード選手はこの1名に含めない。よって、各校の出場者はシード選手+1名となる。なお、シード選手は、トーナメント表に記載されている。 ※トーナメント表は神奈川県高体連柔道専門部ホームページに掲載

ア. 60kg級(60kg以下)

イ. 66kg級(60kgを超えて66kg以下)

ウ. 73kg級(66kgを超えて73kg以下)

エ. 81kg級(73kgを超えて81kg以下)

オ. 無差別級

次ページに続く

前ページから

(2) 女子個人の部

- ①下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は制限しない。
- ア. 48kg級(48kg以下)
 - イ. 52kg級(48kgを超えて52kg以下)
 - ウ. 57kg級(52kgを超えて57kg以下)
 - エ. 63kg級(57kgを超えて63kg以下)
 - オ. 無差別級

- (3) 男子・女子の部ともに登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。
(4) 男子の部の外国人留学生の参加制限は設けず、かつ、女子の部は人数制限も設けない。
(5) 男子・女子の部の試合結果は次年度国体の選考対象とする。

6. 試合規定

(1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。

(2) 試合時間は3分とする。

(3) 優勢勝ちの判定基準

- ①「技あり」「僅差」(指導の差2)以上とする。優勢勝ちの基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(4) 競技方法はトーナメント戦とする。

(5) 表彰は各階級第5位まで賞状を贈る。

7. 申込方法

(1) 男子の部 出場の各校顧問は出場者1名を各地区委員長に告げる。なお、申し込み用紙による手続きは行わない。

(2) 女子の部の申し込みはすでに完了しているので行わない。

(3) 参加料は次のとおりとする。

- ①個人の部の参加料は無料とする。

※団体の部の参加料返金は完了しました。

8. その他

(1) 男子・女子個人の部各階級の優勝者5名を県代表として全国大会に推薦する。

(2) 出場選手・引率者・大会役員は高体連で定められている「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン」を徹底・遵守する。

- ①各学校の顧問教諭の責任において、出場生徒および入館する全生徒の保護者から「生徒の健康チェックシート及び参加確認書」(所定用紙)を回収し、保管すること。
- ②各学校の顧問教諭の責任において、「参加校状況報告書」(所定用紙)を正確に記入し、受付時に大会本部に提出すること。
- ③全員がマスクを持参し、試合を行っている時以外は必ず着用すること。なお、試合中、試合者はマスクを指定されたビニール袋に保管し、試合後、取り違えないよう気を付けること。
- ④こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑤試合中に大きな声で会話・応援をしないこと。
- ⑥試合の前後のミーティングにおいて密を避けること。なお、試合後、試合者は指定された場所で呼吸が整うまで待機すること。
- ⑦無観客試合とする。出場選手以外の生徒の入館は一切認めない。

9. 今大会実施までの経緯について

緊急事態宣言が発出され、全国高等学校柔道選手権大会 団体の部 が中止となり、それに伴い県予選 団体の部 も中止となりました。個人の部は大会を縮小した形で実施することとしました。関係者のみなさまには、何卒、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。